

問1 近畿地方の各府県を比較した統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり300人未満という低い水準にある府県で見られる、人口増減率と高齢化率の特徴として正しいものはどれですか。(2015年 岡山公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 人口増減率がマイナス(減少)を示しており、高齢化率が地域内で最も高い水準にある。 | 2. 人口増減率がプラス(増加)を示しており、高齢化率が地域内で最も低い水準にある。 | 3. 人口増減率がマイナス(減少)を示しているが、高齢化率は地域内の平均よりも低い。 | 4. 人口増減率がプラス(増加)を示しているが、高齢化率は地域内で最も高い水準にある。 |
|---|--|--|---|

問2 琵琶湖における赤潮の発生日数は、1970年代後半のピーク時と比較して、2000年代以降は数日程度にまで大幅に減少しました。この変化をもたらした主な社会的・制度的要因として最も適切なものはどれですか。(2015年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 滋賀県内における下水道普及率の上昇や、環境配慮型農業の推進 | 2. 琵琶湖の面積を拡大するための干拓事業の停止と自然保護区の指定 | 3. 高度経済成長期に建設された大規模ダムによる、湖水の流入量制限 | 4. 琵琶湖周辺における製造業の工場の全面撤退と、観光地化への転換 |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

問3 近畿地方の人口分布や高齢化の状況について述べた次の文のうち、滋賀県の特徴を正しく説明しているものはどれですか。

(2019年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 近隣の府県と比較して65歳以上の人口が占める割合が最も低く、大津市に県庁が置かれている。 | 2. 紀伊半島に位置する和歌山県と同様に、農村部の過疎化によって高齢者の割合が非常に高い。 | 3. 大阪府や京都府への通勤圏として発展しているが、県庁所在地の奈良市を中心に高齢化が急速に進んでいる。 | 4. 県庁所在地を大津市としており、近畿地方で唯一、高齢者の割合が30%を超えている。 |
|---|---|--|---|

問4 近畿地方の府県の位置関係と交通網の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。滋賀県、京都府、大阪府のつなかりに着目して選びなさい。(2018年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 東海道新幹線は滋賀県から京都府を経て大阪府へと通っており、京都駅はその全列車が停車する主要な駅となっている。 | 2. 東海道新幹線は滋賀県から奈良県を経て大阪府へと通っており、歴史的な建造物が多い地域を東西に貫いている。 | 3. 京都府は滋賀県と兵庫県の間位置しており、東海道新幹線を利用することでこれら3つの府県を順番に移動することができる。 | 4. 滋賀県と大阪府の間に位置する京都府には、東海道新幹線の駅は存在しないが、在来線や私鉄による移動が非常に盛んである。 |
|---|--|--|--|

問5 近畿地方における人口の流動について、滋賀県や奈良県から京都府や大阪府へ多くの人々が通勤・通学している要因として、最も適切な説明はどれですか。(2021年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 鉄道網や高速道路の整備が進み、大都市圏のベッドタウンとして住宅地の開発が行われたため。 | 2. 滋賀県や奈良県に大規模な重化学工業地帯が形成され、京都府から多くの労働者が流入したため。 | 3. 京都市や大阪市などの都市部で地価が急激に下落し、周辺県からの通勤者が減少したため。 | 4. 近畿地方の各府県間での移動を制限していた関所などの制度が、近年になって廃止されたため。 |
|--|---|--|--|

問6 日本の果実の都道府県別生産割合を示した統計資料において、約21.0%という全国第1位のシェアを占めている和歌山県をはじめ、愛媛県、静岡県、熊本県などで生産が盛んな果実として正しいものはどれですか。(2021年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|--------|----------|
| 1. 温州みかん | 2. りんご | 3. ぶどう | 4. さくらんぼ |
|----------|--------|--------|----------|

問7 近畿地方の兵庫県南部から大阪府にかけての地形は、山地が海の間近まで迫り、そこから平野部へとつながる特徴があります。このような地形的条件がこの地域の都市形成に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。(2017年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 六甲山地などの山地と海に挟まれた平地が限られているため、海岸線を埋め立てて都市機能や港湾を拡張させてきた | 2. 丹波高地から大阪平野にかけて標高差がまったくなく、河川の氾濫を防ぐための大規模な堤防が必要なかった | 3. 標高の高い山地が広大な面積を占めているため、人々は山頂付近に大規模な都市を建設し、生活の拠点としてきた | 4. 大阪湾沿岸部は非常に標高が高い崖になっているため、港を建設することができず、内陸の盆地を中心に貿易が行われた |
|---|--|--|---|

問8 近畿地方に位置する兵庫県の文化財や地域的特徴に関する記述として、2014年時点の統計に基づいた適切なものはどれですか。(2017年 京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 建造物の国宝・重要文化財の指定数が全国で4位であり、近畿地方の中でも多くの文化財を保持している。 | 2. 人口が全国で4位であり、重要文化財の指定数も大阪府や三重県を抑えて全国で最も多い。 | 3. 面積が全国で4位と非常に広く、その広大な土地の多くが重要文化財の指定範囲に含まれている。 | 4. 建造物の国宝・重要文化財の指定数は全国で12位であり、人口や面積の規模に比べて文化財が少ない。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
人口増減率がマイナス（減少）を示しており、高齢化率が地域内で最も高い水準にある。
- 人口密度が低い地域は、山間部などの過疎地域を抱えていることが多く、進学や就職に伴う若年層の都市部への流出が顕著です。その結果、総人口が減り続ける「人口減少」が進行するとともに、相対的に高齢者の割合が高まるため、統計上では人口増減率のマイナスと高齢化率の最高値が同時に現れる傾向があります。
- 問2** **答え 1**
滋賀県内における下水道普及率の上昇や、環境配慮型農業の推進
- 赤潮の原因となる富栄養化を防ぐため、滋賀県では下水道の整備が急速に進められました。これにより、家庭からの汚水が直接湖に流れ込むことが抑制されました。また、化学肥料や農薬の使用を抑える環境配慮型農業（環境こだわり農業）の普及も、湖水の水質改善に大きく貢献しています。統計資料でも、下水道普及率の上昇と反比例するように赤潮の発生日数が減少していることが示されています。
- 問3** **答え 1**
近隣の府県と比較して65歳以上の人口が占める割合が最も低く、大津市に県庁が置かれている。
- 滋賀県は、京阪神へのアクセスが良いことから若年層や子育て世代の流入があり、2017年の資料では近畿地方で最も高齢化率が低い（24～27%）地域として示されています。県庁所在地は大津市であり、県全体の人口動態を考える上で重要な知識となります。
- 問4** **答え 1**
東海道新幹線は滋賀県から京都府を経て大阪府へと通っており、京都駅はその全列車が停車する主要な駅となっている。
- 東海道新幹線のルートを地理的に把握すると、滋賀県（米原駅）の次に京都府（京都駅）、その次に大阪府（新大阪駅）という順序でつながっています。京都府は内陸の滋賀県と、大阪湾に面する大阪府の間に位置し、交通の要所としての役割を果たしています。奈良県や兵庫県も近畿地方に属しますが、東海道新幹線の滋賀・大阪間という条件には当てはまりません。
- 問5** **答え 1**
鉄道網や高速道路の整備が進み、大都市圏のベッドタウンとして住宅地の開発が行われたため。
- 滋賀県や奈良県は京都府や大阪府に隣接しており、JRや私鉄などの鉄道網が非常に発達しています。これにより、歴史的な景観や良好な居住環境を求めて周辺県に居住し、中心都市である京都市や大阪市へ働きに出たり通学したりする「ベッドタウン」としての役割が強まりました。このような都市間のつながりを人口流動のデータから読み取ることが重要です。
- 問6** **答え 1**
温州みかん
- 和歌山県は、温暖な気候と傾斜地を活かした果樹栽培が非常に盛んな地域です。特に温州みかんは、愛媛県や静岡県と並んで日本を代表する産地であり、長年にわたり全国トップクラスの生産量を維持しています。一方で、りんごは青森県や長野県、ぶどうは山梨県や長野県が主な産地となります。
- 問7** **答え 1**
六甲山地などの山地と海に挟まれた平地が限られているため、海岸線を埋め立てて都市機能や港湾を拡張させてきた
- 兵庫県南部、特に神戸周辺では六甲山地が海の間近まで迫っており、居住や産業に利用できる平地が非常に限られています。そのため、山を削った土砂で海を埋め立て、ポートアイランドのような人工島や公共施設を整備することで、限られた土地を有効に活用して都市を発展させてきた歴史があります。
- 問8** **答え 1**
建造物の国宝・重要文化財の指定数が全国で4位であり、近畿地方の中でも多くの文化財を保持している。
- 兵庫県は古くから交通の要所として栄えた歴史があり、神社仏閣や城郭などの建造物が数多く残されています。統計データで見ると、人口規模（全国7位）や面積（全国12位）に対して、建造物の文化財指定数が全国4位と非常に高い水準にあることがわかります。これは、近畿地方の他県と比較しても、歴史的価値の高い建物が良好な状態で保存・継承されていることを示しています。